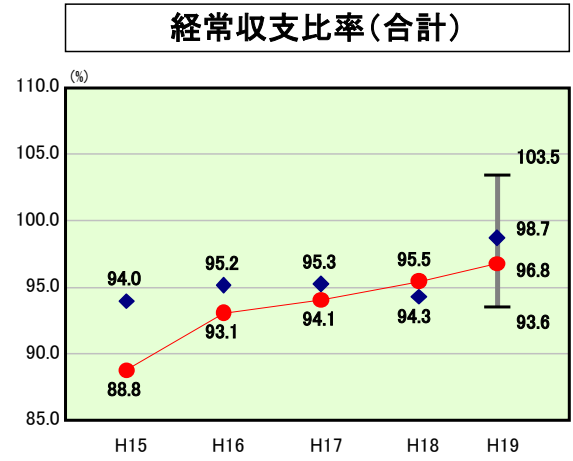


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

茨城県

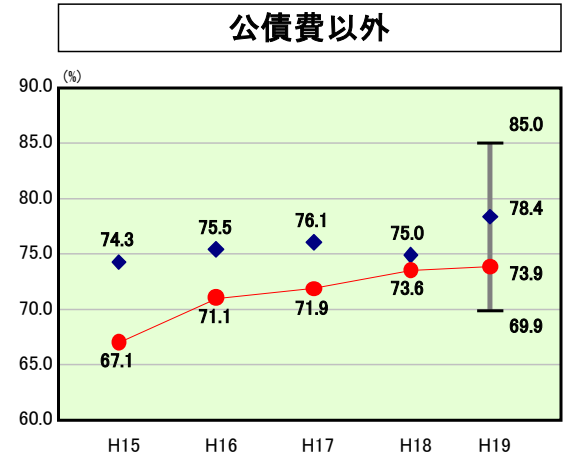
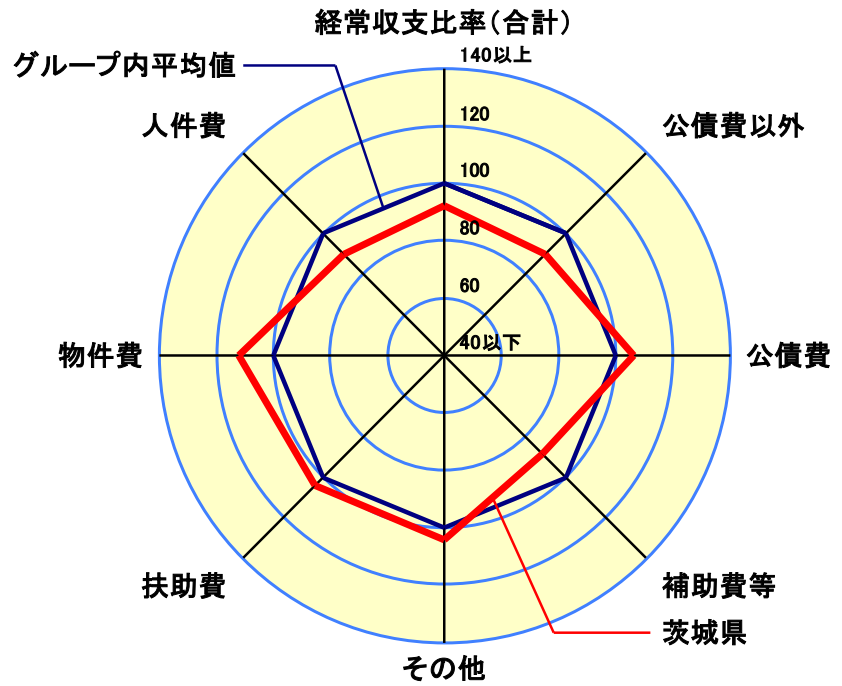
経常収支比率の分析



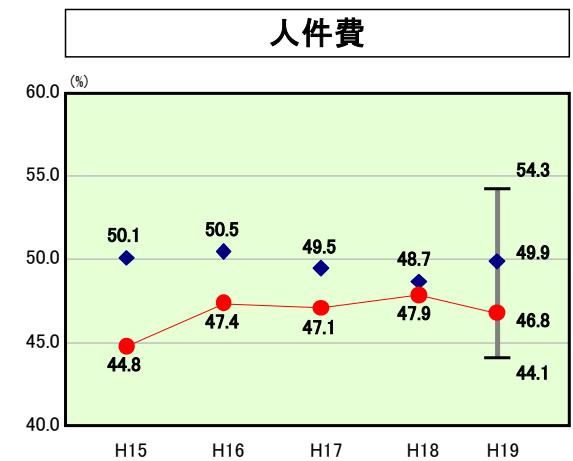
当該団体値 ●
グループ内平均値 ◆
グループ内最大値 ⊥
グループ内最小値 ⊥

人口	2,982,000人(H20.3.31現在)
面積	6,095.69 km ²
歳入総額	1,018,153,521千円
歳出総額	1,007,953,957千円
実質収支	6,125,255千円
グループ(年度毎)	H15 I H16 I H17 I H18 I H19 I

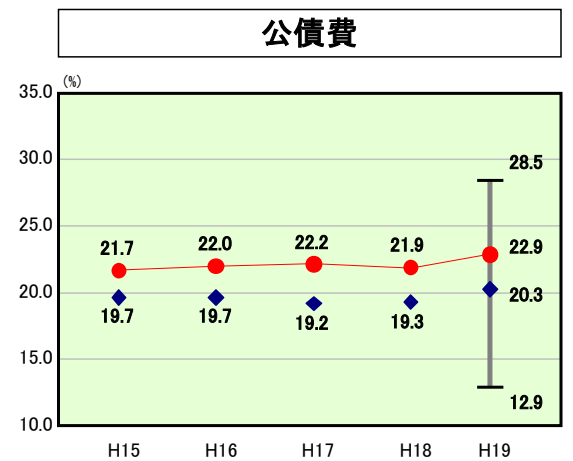
H19グループ内順位 5/17
都道府県平均 94.7



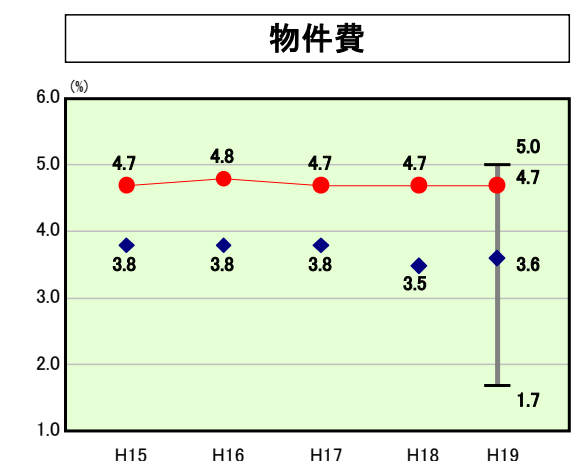
H19グループ内順位 5/17
都道府県平均 72.0



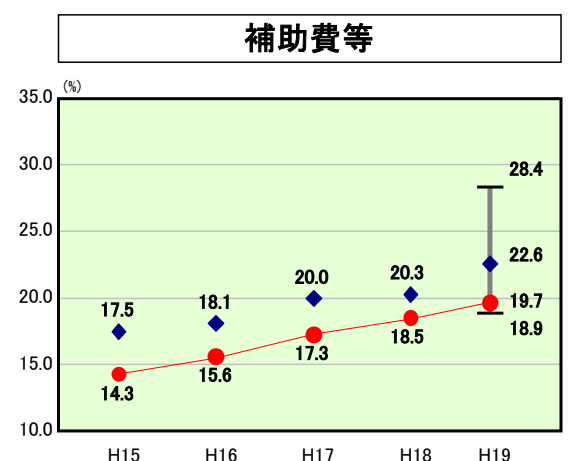
H19グループ内順位 4/17
都道府県平均 44.4



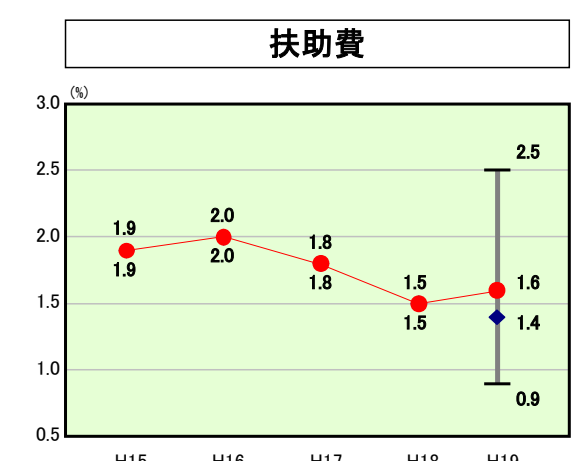
H19グループ内順位 11/17
都道府県平均 22.7



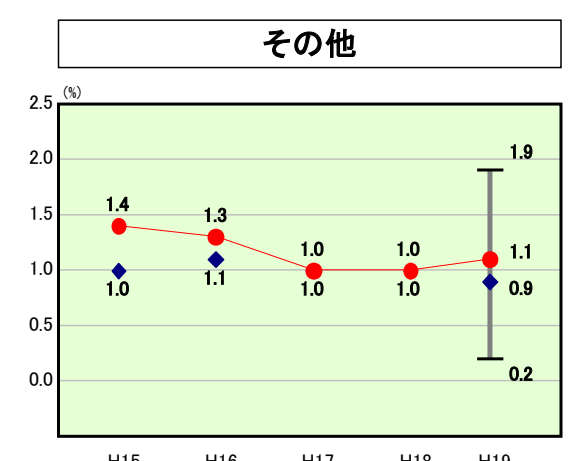
H19グループ内順位 14/17
都道府県平均 3.7



H19グループ内順位 3/17
都道府県平均 21.0



H19グループ内順位 13/17
都道府県平均 1.5



H19グループ内順位 11/17
都道府県平均 1.4

- ※1 本レーダーチャートは、当該団体とグループ内平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 グループとは、道県を財政力指数の高低によって4つに分類したものである。
〔Iグループ 0.500以上1.000未満、IIグループ 0.400以上0.500未満、
IIIグループ 0.300以上0.400未満、IVグループ 0.300未満〕

分析欄

経常収支比率分析
◆人件費
グループ内平均と比較すると、他府県より低い水準となっており、また平成19年4月から2年間の職員給与カットを行っていることから、18年度決算と比較しても低下している。本県の厳しい財政状況に鑑み、集中改革プランに基づく職員数削減に取り組む等、人件費の削減に積極的に取り組んでおり、引き続き、年功的な昇給の更なる抑制、現業職員の給与水準の見直し等、一層の適正化を進める。

◆物件費
グループ内平均と比較すると他府県よりも高い水準にあり、全国順位としては高い方から8位である。これは、委託費や需用費の比率が高いこと、また教育分野の比率が高いことに起因していることから、今後は事務事業の見直しに取り組み経常的な経費の削減を図るとともに、県立高等学校の再編整備などをより一層進め、歳出削減に努める。

◆公債費
グループ内平均と比較すると高い比率にあるが、全国順位としては低い方から14位である。平成4年以降の国の景気対策と歩調を合わせて、公共投資の追加を行ってきたことによる県債残高の増に伴う公債費の増加が主な要因である。今後は公債費のピークと思われる平成20年度に向けて一時的に上昇するが、公共投資の削減による県債の新規発行額の抑制や公的資金繰上償還制度の活用による高金利地方債の借換により公債費負担や公営企業への繰出金の抑制を図る。

◆補助費等
グループ内平均と比較すると低い水準にあるが、近年増加傾向にある。これは、国民健康保険都道府県調整交付金や介護給付費負担金、老人医療費公費負担金など制度的な補助金等の増によるものである。今後は単独補助金の更なる削減を進める等、歳出削減に努める。

人件費及び人件費に費やす費用分析
グループ内平均を上回っているが、政令指定都市を含まない団体の比較では本県は全国的にも最も少ない状況にある。集中改革プランに基づく職員数削減に取り組む等、人件費の削減に積極的に取り組んでいるところであり年功的な昇給の更なる抑制、現業職員の給与水準の見直し等、一層の適正化を進める。なお、平成19年4月から2年間の職員給与カットを行っている。

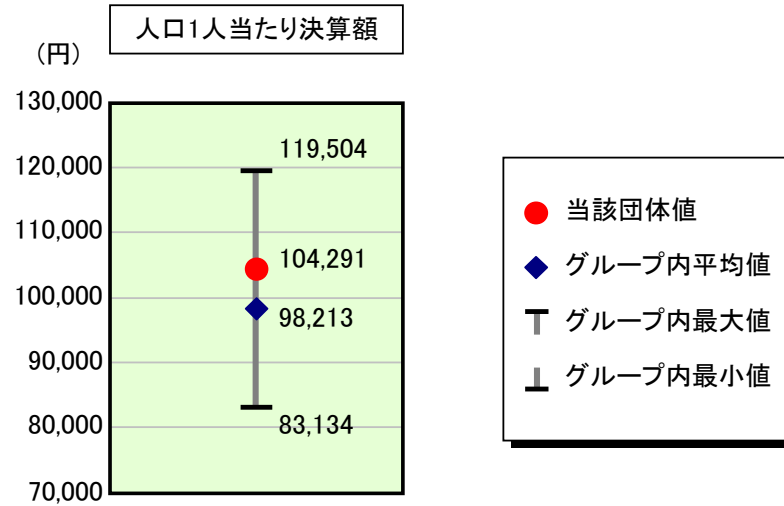
公債費及び公債費に費やす費用分析
グループ内平均を上回っているが、これは平成4年以降の国の景気対策と歩調を合わせて、公共投資の追加を行ってきたことなどによる県債残高の増に伴う公債費の増加が主な要因である。今後は公債費のピークと思われる平成20年度に向けて一時的に上昇するが、公共投資の削減による県債の新規発行額の抑制や公的資金繰上償還制度の活用による高金利地方債の借換により公債費負担や公営企業への繰出金の抑制を図る。

資産運用事業費の分析
グループ内平均を上回っているが、近年は減少傾向にあり、政令指定都市を含まない団体の中では全国的にも最も少ない状況にある。近年の大幅な公共投資の削減により、その結果過去5年間の平均削減率はグループ平均の約2.9倍となっている。今後は集中改革プランに基づき、公共投資の削減・重点化を図る。

歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

茨城県

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

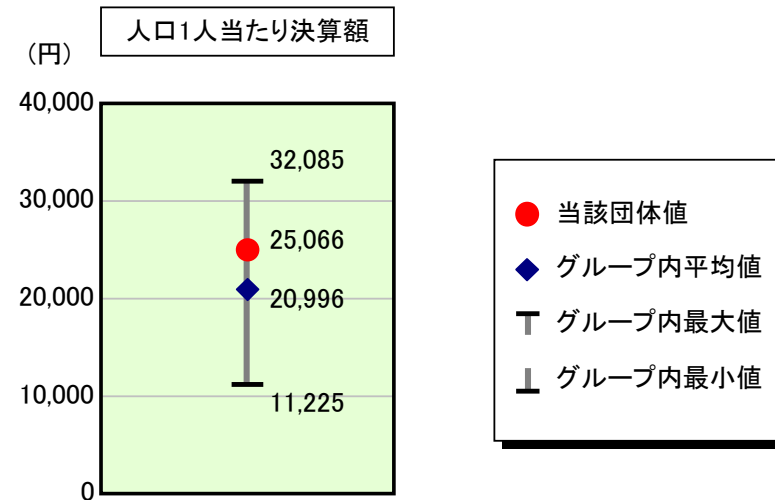
項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	
人件費	337,039,322	113,025	107,135	5.5
賃金(物件費)	689,492	231	236	▲ 2.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	574	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	-	-	77	-
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	3,136,241	1,052	1,049	0.3
▲退職金	▲ 29,870,377	▲ 10,017	▲ 10,857	▲ 7.7
合計	310,994,678	104,291	98,213	6.2

参考

項目	当該団体	グループ内平均	対比(差引)
人口100,000人当たり職員数(人)	1,154.80	1,031.48	123.32
ラスパイレス指数	97.8	100.2	▲ 2.4

ラスパイレス指数及び職員数に係る項目については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである(以降の項目について同じ。)

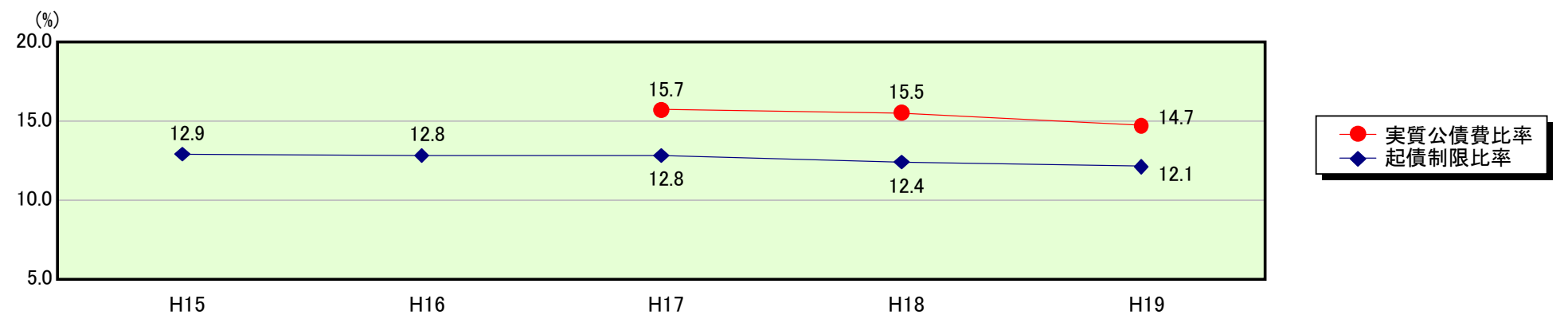
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	120,175,975	40,300	26,533	51.9
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	21,847,876	7,327	14,725	▲ 50.2
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	6,631,287	2,224	1,282	73.5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	-	-	51	-
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	1,345,350	451	686	▲ 34.3
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	35,045	12	15	▲ 20.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 75,289,454	▲ 25,248	▲ 22,296	13.2
合計	74,746,079	25,066	20,996	19.4

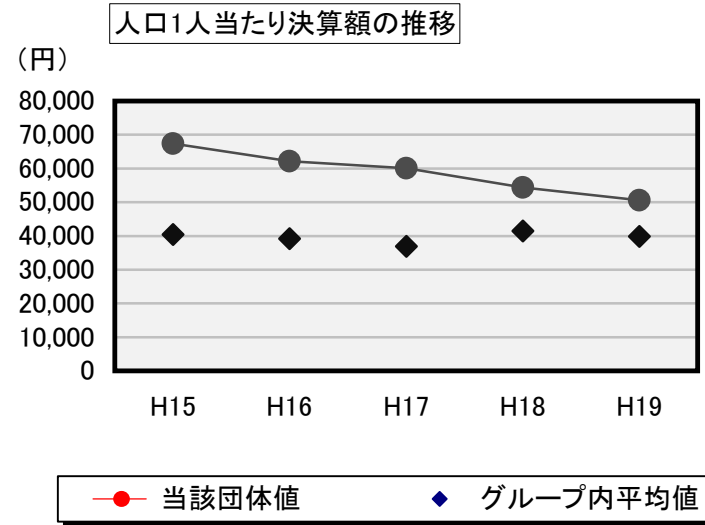
※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

茨城県

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	グループ内平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H15	201,442,948	67,332	▲ 14.0	40,430	▲ 14.0	0.0
うち単独分	69,018,818	23,069	▲ 7.4	16,133	▲ 13.7	6.3
H16	185,636,295	62,112	▲ 7.8	39,172	▲ 3.1	▲ 4.7
うち単独分	62,906,472	21,048	▲ 8.8	16,796	4.1	▲ 12.9
H17	179,465,355	60,051	▲ 3.3	36,945	▲ 5.7	2.4
うち単独分	64,869,084	21,706	3.1	15,956	▲ 5.0	8.1
H18	162,475,427	54,410	▲ 9.4	41,430	12.1	▲ 21.5
うち単独分	61,204,775	20,496	▲ 5.6	18,446	15.6	▲ 21.2
H19	150,933,766	50,615	▲ 7.0	39,894	▲ 3.7	▲ 3.3
うち単独分	55,354,798	18,563	▲ 9.4	17,501	▲ 5.1	▲ 4.3
過去5年間平均	175,990,758	58,904	▲ 8.3	39,574	▲ 2.9	▲ 5.4
うち単独分	62,670,789	20,976	▲ 5.6	16,966	▲ 0.8	▲ 4.8